



# 慶應義塾大学出版会 新刊案内

2019

7月

〒108-8346 東京都港区三田 2-19-30

Tel: 03-3451-6926 / Fax: 03-3451-3124

<http://www.keio-up.co.jp/>



平積印のついている本には特にご注目下さい。平積みいただければ幸いです。



## 南方からの帰還 日本軍兵士の抑留と復員



増田弘 (立正大学法学部特任教授、元東洋英和女学院大学教授) [著]

ココに注目!

- ・謎の多い東南アジア抑留の全貌を、最新史料から読み解く。
- ・英蘭豪米による南方抑留は、国ごとに捕虜への処遇が大きく異なっていた。
- ・抑留を延ばしたい英蘭と早期復員させたい米国の政治的駆け引きを描く。

シベリア抑留の実に2倍の120万人が関わりながら、未だ謎の多い東南アジア抑留。これまで個人史のかたちで主観的ながら広く伝えられてきたその歴史は、近年旧連合国の資料公開が進む中で、全体像が明らかになってきた。本書は、最新史料をもとに、抑留の実態と当時の国際関係が復員に及ぼした影響を解き明かす。

本体予価 **2,700円** 四六判上製 / 272頁

ISBN 978-4-7664-2609-0 C0021

対象：一般 (太平洋戦争や抑留・引揚の歴史に興味がある読者)

部数：★★★★

配本予定：7月中旬

関連の既刊書はこちら!



## 大日本帝国の崩壊と引揚・復員

本体価格 **3,800円** A5判上製 240頁

ISBN 978-4-7664-1975-7 2012年11月

増田弘 編著

終戦後、日本政府が当初の残留日本人の「現地定着」政策から「早期引揚実施」へと変化したのはなぜか? 連合国の思惑のなかで各地の日本軍と民間人がたどった帰還の実態、そして戦後日本社会へ与えた影響を多角的に明らかにする。

部数は、★で約500部を表します。



# 障害の重い子どもの発達理解ガイド

## 教科指導のための「段階意義の系統図」の活用

徳永豊 (福岡大学人文学部教授、「教育と医学の会」編集委員)・  
田中信利 (北九州市立大学文学部人間関係学科教授) [編著]

### 👉 ココに注目!

- 子ども一人ひとりにあわせた授業づくりの方法を解説。
- 『障害の重い子どもの目標設定ガイド』の読者の声を反映した続編。
- 購入者特典として、教科指導のためのツールをwebにて提供。

障害の重い子どもは一人ひとりの発達水準が異なるため、近年の特別支援教育においてはその子どもにあった指導や支援を行うことが求められている。本書は、前作で十分にとり上げられなかった「発達段階」をテーマに、重度の障害をもつ子どもの授業づくりの方法を提示する。

本体予価**1,000円** A5判並製/88頁  
ISBN 978-4-7664-2608-3 C3037  
対象：特別支援教育に携わる教職員、保育士  
部数：★★★★★  
配本予定：7月中旬

### 関連の既刊書はこちら!



**4刷 13,000部突破!**

## 障害の重い子どもの目標設定ガイド

### 授業における「学習到達度チェックリスト」の活用

本体価格 **1,000円** A5判並製/80頁  
ISBN 978-4-7664-2180-4 2014年10月  
徳永豊 編著

知的障害などで学ぶことの困難さが大きい子どもの学習評価の画期的ツールである「学習到達度チェックリスト」の仕組み、具体的な活用方法、実践事例を解説。



# 犯罪学入門

ガバナンス・社会安全政策のアプローチ (仮)

小林良樹 (前警察庁内閣官房内閣審議官、明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科特任教授) [著]

## 🔍 ココに注目!

- 犯罪学の考え方や手法をやさしく解説。
- 類書にはない、新領域「社会安全政策」を大きくとりあげる。

歴史的に、犯罪の原因を究明し、犯罪者をつくらないことで防犯を図ってきた犯罪学。その限界から、犯罪の起きにくい環境づくりによって被害者をつくらない新たなアプローチ (社会安全政策論) が模索され、現在その有効性が実証されてきている。本書は実務家であった著者が犯罪学、社会安全政策論の考え方をやさしく解説する。

本体予価 **2,500 円** A5 判並製 / 224 頁  
ISBN 978-4-7664-2594-9 C3032

対象: (犯罪学、刑事政策、犯罪心理学、犯罪社会学を学ぶ)  
学生、研究者

部数: ★★

配本予定: 7 月中旬

📖 類書 守山正ほか編著「ヒギナーズ犯罪学」(成文堂)

※本書は、2019 年 3 月号にて、新刊としてご案内を差し上げておりますが、価格が大幅に変更 (3,400 円→2,500 円) となったため再案内いたします。お手数ですが、再度のご発注をお願いいたします。

## 今月の別刷り注文書のご案内



下記の書目については、それぞれ同封の別紙 (A4 判色紙) にて詳細をご案内いたしますので、書籍内容はそちらで御確認いただければ幸いです。なお、注文用紙 (短冊一覧) と別紙の双方に注文欄がございますが、どちらに記入していただいても構いません。注文数が重複した場合には「多い方の発注数」にて対応させていただきます。



刑事法実務の基礎知識

## 特別刑法入門 2

安富潔 著

本体予価 **3,500 円** A5 判並製 / 296 頁

ISBN 978-4-7664-2610-6 C3032



## 移民と AI は日本を変えるか



翁邦雄 著

本体予価 **2,000 円** 四六判仮フランス装 / 272 頁

ISBN 978-4-7664-2611-3 C0033

部数の★は、1 つで約 500 部を表します。

先月号でも簡単にご案内しましたが、  
内容が固まりましたので、改めて概要をお知らせいたします。

## 『ナチズムは再来するのか?』刊行記念フェア 「20世紀の経験と現代への警告」

昨今、ポピュリズムと呼ばれる現象が世界を席卷し、「民主主義の死に方」さえ論じられるようになった。そのようななかで、当時「世界で最も民主主義的」とされながらヒトラー率いるナチ運動の台頭を生んだ、今年建国から100年となるヴァイマル共和国が注目されている。

いま、民主主義はいかなる危機に直面しているのか。かつての民主政の崩壊から何を学べるのだろうか。われわれが生きる現代世界、とりわけ民主主義にとって、過去の歴史はいかなる教訓をもつのかを考えたい。

書目は30点(内10点は訳者コメント付き)、「ヴァイマル共和国とナチズム」「現代のポピュリズムと民主主義の危機」の2テーマから選書しています。

タイトルパネル、POP、フェア小冊子等拡材もご用意ございます。

開催をご検討いただける場合は、ブックリストのデータ提供も可能ですので、営業部販売課(TEL:03-3451-6926)までぜひご連絡下さい!



## ナチズムは再来するのか?

民主主義をめぐるヴァイマル共和国の教訓

A・ヴィルシング(ミュンヘン大学教授)、B・コーラー(ドイツ全国紙記者)、  
U・ヴィルヘルム(ラジオ局ディレクター) [編] /

板橋拓己(成蹊大学法学部教授)・

小野寺拓也(東京外国語大学特任講師) [監訳]

本体価格 1,800円 四六判並製 / 160頁

ISBN 978-4-7664-2606-9 C0022

※ 6月13日(木) 取次搬入予定